

「温暖化防止・ストリート」の由来

このストリート（街角）で温暖化防止について語り、情報や人の環が広がっていくことが、温暖化防止への道（ストリート）につながることを願っています。一緒に歩いてみませんか。

気候ネットワーク

～わたしたちはめざします～

1. 抜本的な国内対策で京都議定書の6%削減を！
2. 環境重視の社会経済システムを！
3. 市民・地域主導で温暖化防止の促進を！
4. 政策決定プロセスに市民の参加と情報公開を！
5. 南北の公平をめざし、南の人々と連携を！

目次

- ・用語解説
「二酸化炭素換算、炭素換算」……P.1
- ・団体会員紹介
「あおぞら財団」……P.2
- ・会員の声・こんなことできる……P.3
- ・「市民が進める温暖化防止2003」のご案内・本の紹介・ボランティアの声……P.4

温暖化防止

ストリート

街角

道

KIKO NETWORK 気候ネットワーク

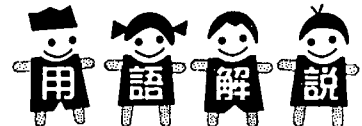
気候ネットワークの会員同士のつながりを強め、その環を一層多くの人に広げたいと思い、この「温暖化防止ストリート」を発行しています。

第4号

2003.11.1

よく聞くけど

「ん？」何だったかなーっと思う



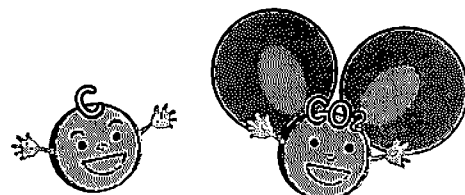
用語：二酸化炭素換算？炭素換算？

化石燃料に含まれている炭素（C）が燃焼し、空气中に排出されて二酸化炭素（CO₂）となります。この排出量を表す時に、CO₂が「t-CO₂」、あるいは炭素換算で「t-C」と表記されます。例えば、2001年の日本の二酸化炭素排出量は「12億1,370万t-CO₂」又は「3億3,101万t-C」と表記されています。

二酸化炭素（CO₂）と炭素（C）の重さの比率は44：12です。仮に、炭素換算の排出量10kgを、CO₂の排出量に直すときは10×44÷12と計算し、約36.7kgとなります。おおむね4倍弱になると覚えておくのも簡単かもしれません。

この数値を身近なもので見えますと、日本の平均的な家庭は1ヶ月に、約350kWhの電気（電気代

でいうと約8000円程度）を使用しています。この場合、132kgのCO₂、炭素換算では36kgが排出されたこととなります。また、燃費が10km/1リットルの車を10km走らせた場合、2.38kgのCO₂、炭素換算では0.65kgが排出されます。1ヶ月に1000km走行すれば、238kgものCO₂を排出していることとなります。



※電力の排出係数は、0.377kg-CO₂/kWhを使用、この数値は毎年変わります。

各地で活躍する仲間たち

気候ネットワークの団体会員の紹介です。



大阪

今回は、大阪市にある、「あおぞら財団」の紹介です。同会の上田敏幸さんから紹介していただきました。



上田敏幸さん

「手渡したいのは青い空」～市民とともに環境再生に取り組む～

あおぞら財団が発足したのは1996年9月、西淀川公害訴訟の和解金の一部を基金に設立した環境省所管の公益法人です。大気汚染公害で健康を破壊され、命さえ奪われた被害者たちの願いにこたえるために4つの目標を掲げています。

- (1)公害のないまちづくり
- (2)公害の経験を伝える
- (3)自然や環境について学ぶ
- (4)公害患者の生きがいつくり



ブロックを使った交通環境学習
ワークショップのひとこま

<公害のないまちづくり>

道路公害問題の解決をめざして、政策提言づくりなどに専門家と連携して取り組んでいます。

タンポポやセミのぬげがらなどを指標生物に、その分布を継続して調査する活動や矢倉海岸での野鳥、植物、干潟のいきものなどの定期的な観察、子ども・市民の参加で続けています。

<公害資料の保存・活用>

公害の経験を教訓として伝えるために、公害問

題にかかわってきた住民運動の資料の保存・整理に取り組んでいます。また、全国各地の被害者団体や弁護士、研究者らによるネットワークづくりや行政資料の保存を求める活動もしています。公害被害者団体と共同してアジアの環境NGOとの交流活動をすすめています。

<「出前教室」修学旅行の受け入れ>

公害の経験を「公害被害の語り部」とともに伝える「出前教室」をしています。教育現場の先生と専門家・研究者が協働して教材や手引書づくりに取り組んでいます。体験学習や修学旅行、国際協力事業団などに協力して海外研修者を受け入れています。毎年、インターンシップによる研修生も活躍しています。

<公害病患者の生きがいつくり>

公害病患者を対象とした園芸教室、水中リラックス教室などを通して健康・生きがいつくりに取り組んでいます。

本の紹介

当財団では、まちづくりたんけん隊や原風景・原体験の聞き取り調査などの経験をもとに、『都市に自然をとりもどす』（宗田好史他編著、学芸出版、2000年）や『つくってみよう身の回りの環境診断マップ』（2000年3月）などを作成してきました。そうした中で、「ぜひ、子ども版の冊子をつくって欲しい」とのご要望があり、この冊子を編集することになりました。

まちづくりへの子どもの参画の重要性は語られますが、実際はなかなか進まないのが現状です。まち調べというひとつの手法をとおして、様々な対話がうまれることを願っています。ワークショップ開催のご相談にもなっています。学校で、地域で、様々な活動で、ぜひともご活用ください。



B5版、22頁、500円
(会員は400円) + 送料、
小学校高学年～中学生向け

「あぶり」と「えころ節」の 【まち調べとマップづくり】

◆もくじ◆

- 1 テーマはなんじゃ!
 - 2 調査にはこれがあるのじゃ!
 - 3 いよいよ調査じゃ!
 - 4 お友だちのマップ紹介
 - 5 どでかいマップをつくるんじゃ!
 - 6 昔のことを調べるんじゃ!
 - 7 未来のまちをつくるんじゃ!
- 付録 おとなといっしょに読むページ
子どもはまちの一員

編集：せいわエコ・サポーターズクラブ、西淀川公害に関する学習プログラム作成研究会

(財) 公害地域再生センター (あおぞら財団)

〒555-0013 大阪市西淀川区千舟1-1-1 三洋ビル 4階

TEL: 06-6475-8885 FAX: 06-6478-5885 E-mail: webmaster@aozora.or.jp URL: http://www.aozora.or.jp

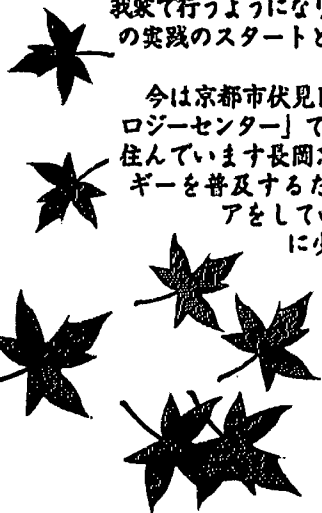


会員の皆様からご意見・ご感想等をいただいております。

田原誠一郎さん (京都府)

2000年12月に気候ネットワーク主催の「市民が進める温暖化防止」に参加して、遠くない糸の時代でも地球環境が非常に危ないことを知り環境問題に取り組み始めました。また一昨年の第3期「自然エネルギー学校・京都」のワークショップで実習したミニ太陽光パネルによる発電とビニルシートを利用した雨水収集・利用を我家で行うようになり、自然エネルギーの実践のスタートとなりました。

皆様のご意見・自由なご発言を募集しております。皆様の声を遠慮なくお寄せください。次号は、1月発行ですので、12月20日までにご連絡ください。



今は京都市伏見区にある「京エコロジーセンター」での館内ガイドや、住んでいます長岡京市で自然エネルギーを普及するためのボランティアをしています。2人の孫に少しでも良い環境を引き継ぐため頑張りたいと思っています。今後ともよろしくお祈りします。



気候ネットワーク京都事務局でスタッフとして活動させていただいておりました木原浩貴です。私は9月に気候ネットワークを退職し、10月より、新たに設立された「京都府地球温暖化防止活動推進センター」のスタッフとしての活動を開始いたしました。これまでご指導いただきました皆様、誠にありがとうございました。この場を借りて御礼申し上げます。

気候ネットワークでボランティア活動を始めてから、はや5年半。スタッフとして働き始めてから教えても2年半が過ぎました。この間の経験は何ものにも替えがたいものです。とりわけ、魅力的な多くの方と知り合えたことは私の一生の財産です。

今後、立場は変わりますが、気候ネットワークでの経験を活かしつつ「温暖化防止」という共通の目的に向かって活動を続けてまいります。気候ネットワークでのボランティア活動も続けていきたいと考えております。今後も何かとお世話になるかと思いますが、どうかよろしくお祈りいたします。



温暖化防止

こんなことできる!



このコーナーでは、「家庭・個人」・「地域・グループ」でできる効果的な温暖化対策を紹介していきます。

今回のテーマは『冬の省エネ』

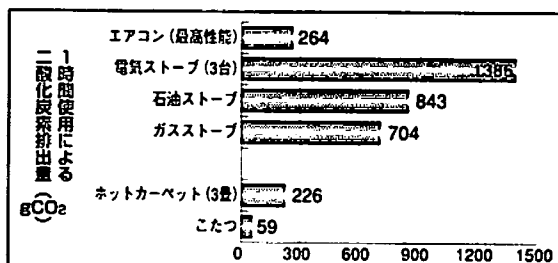
⊕ エネルギー消費量が意外に多い暖房！これからの寒い季節、どのような工夫をすれば快適に省エネを進めることができるのでしょうか。

画期的な省エネ製品といえるでしょう。

なほ部屋暖房の傾向として、天井ばかり暖めがちになります。天井裏のネズミを快適にしても仕方ないので、時々扇風機やうちわでかき混ぜてみてください。

もともと、温かいものを食べるとが、服を着込むなどして、暖房は控えめにするほうがいいのは言うまでもありません。

ひのでやエコライフ研究所 鈴木靖文



家庭においては、暖房を使う冬が二酸化炭素排出のいちばん多い季節になります。暖房では、器具やエネルギー源をうまく選ぶことで大きな削減につながり、工夫のしがいがあるところです。

同じストーブで比較すると、電気が最も二酸化炭素排出が多く、灯油、ガスと少なくなります。ただし電気を使っている、エアコンの場合には、熱を室外から送り込む機能（ヒートポンプ）が働いているために、ストーブに比べて排出量を大幅に削減することができます。性能のいい機種なら、ガスストーブの4割程度の排出になります。さらに部屋暖房に限らなければ「こたつ」が飛び抜けてよく、石油ストーブの14分の1しか排出しません。これで家族全員が暖まりますから、

市民が進める温暖化防止2003

今夏のヨーロッパは異常な暑さを記録し、また「9月の世界の平均気温は、9月としては信頼できる観測が始まった1880年以来最も高かった」との報道もありました。今回は、京都議定書の発効と国内の対策促進に向けて様々な角度から報告・議論を行いますので、ぜひご参加ください。

日時：12月20日(土)、21日(日)
会場：ひと・まち交流館 京都(京都市下京区)
参加費：一般、1,500円
(2日分) 会員・学生、1,000円

1日目 (12/20(土))

【分科会】

- 13:00～15:30
 - ・「いよいよ、こけら落とし！脱フロンへの道」
- 13:00～20:00
 - ・ライフスタイル、「建築・住宅からの温暖化防止」
- 17:00～20:00
 - ・「脱温暖化型の地域を創る」
 - ・「進行する日本温暖化～人や植物への影響」

2日目 (12/21(日))

- 8:30～10:30
 - 【東本願寺ツアー】(要予約)
- 9:30～12:30
 - 【分科会】
 - ・「みんなで徹底討論 どんな炭素税がいいの?」
 - ・「自然エネルギー普及のために、市民の役割」
- 13:30～17:00
 - 【全体会】
 - ・基調報告：温暖化交渉の現状とこれから
 - ・討論：炭素税、地域の温暖化対策

(分科会のタイトルは仮称です。時間は変更する場合があります)

本の紹介

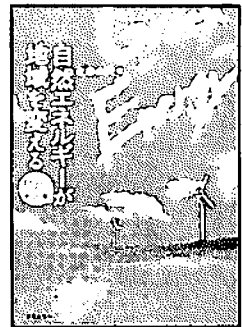
お勧めの本の紹介です。

紹介者：豊田陽介氏(京エコロジーセンター)

「自然エネルギーが地域を変える～まちづくりの新しい風」

佐藤由美 著、学芸出版社
2003年5月20日第1刷発行

「あなたが育った地域はどんなところですか？」太陽の光が降り注ぎ、風が吹き、雨や雪が降り、水が流れ、森がある。そんな地域が持つ資源をもう一度見直してほしい。今、日本各地に地域資源である自然エネルギーを有効活用しようとする動きが広がりつつあります。地域での自然エネルギーの有効活用は温暖化防止に有効であるだけでなく、その地域独自の新たな発展の方向性を描ききかけにもなります。この本にはそのような自然エネルギーを通じて地域を変えようとする多くの取り組み例が紹介されています。



<本体2,000円+税 190ページ>

ボランティアの声



京都ボランティア 成田 真澄さん

気候ネットワークでは
たくさんボランティアが
一緒に活動しています。
そのボランティアからのコメント！

昨年気候ネットワークでインターンシップをし、そのままボランティアとして続けさせていただいています。こんなに続けられているのは、問題意識を持ち、自分達の気持ちに正直に行動し、解決策を模索、そして実行へつなげていくという気候ネットワークのスタイルに惹かれているからなのだと思います。住宅・まちづくり研究会のコーディネーターをさせていただいていますが、まだまだ未熟です。しかし普段の学生生活では関わることのない専門家の方たちと一つのテーブルで話をしたり、イベントを企画したりしていると、自分の活動が社会につながっているのだと、私なりにやりがいを感じています。住宅に興味のある方、どなたでも参加できるので、ぜひ研究会に来てください！！

編集後記

気候ネットワークは、1年間の活動の中でも一番大きなイベント、「市民が進める温暖化防止2003」シンポジウム(事務所では12月シンポと呼んでいます)に向け、大変あわただしくなっております。

今年の12月シンポでは、東本願寺と協力して東本願寺ツアーも開催します。東本願寺には琵琶湖の水が引き込まれていたり、さぎの巣があったり、すっぽんがいたりと街中に貴重な自然が残っているところです。シンポジウムも含めてぜひご参加ください。

(おかゆ)



特定非営利活動法人 気候ネットワーク

代表：浅岡美恵 / 副代表：須田春海 / 事務局長：田浦健朗

URL: <http://www.jca.apc.org/kikonet/>

「温暖化防止・ストリート」4号
2003年11月1日発行(隔月1日発行)
編集・DTP: 岡優子

京都事務所(本部)
〒604-8124 京都市中京区高倉通四条上る高倉ビル305
TEL: 075-254-1011 FAX: 075-254-1012
E-mail: kikonet@jca.apc.org

東京事務所
〒102-0083 東京都千代田区麹町2-7-3半蔵門ウッドフィールド2F
TEL: 03-3263-9210 FAX: 03-3263-9463
E-mail: kikotko@jca.apc.org

本誌100%の月生産に大豆インクを使用し、風力発電による自然エネルギーで印刷しました。



郵便振替口座：00940-6-79694 (加入者名：気候ネットワーク)

銀行振込口座：東京三菱銀行 京都支店 普通口座 1370852 (気候ネットワーク)